

「体験活動を通じて、よりよい人間関係を築こう」当日の実施計画（例）

1 当日のスケジュール

時 間	内 容	会 場
8：50～ 9：10 【20分】	○はじまりの会（生徒主体、先生方の指導） ・活動の趣旨や内容について説明する。（職員）	体育館等
9：10～ 9：40 【30分】	○予め決定したグループに分かれる。 ○ビーイングについて説明（職員） ・グループごとに目標と約束を設定する。 ○グループ活動の内容や場所の確認を指示し、移動を開始する。（職員）	
9：50～10：05 【15分】	○野外炊事の方法について説明（職員）	校庭
10：05～12：15 【130分】	○野外炊事体験 ・薪を組んで火付け体験 ・鍋を使った炊事体験	
12：15～12：35 【20分】	○ビーイングによる振り返り① ※午後の活動について説明	体育館等
12：40～13：40 【60分】	○給食、昼休憩	
13：45～14：15 【30分】	人間関係づくりプログラム ○グループ活動Ⅰ 活動【25分】 移動・休憩【5分】	いくつかの場所 に分かれて活動 ※プラザ職員が 指導するグルー プと、学校の先 生方に指導して いただくグルー プをつくっても よい。
14：15～14：45 【30分】	○グループ活動Ⅱ 活動【25分】 移動・休憩【5分】	
14：45～15：15 【30分】	○グループ活動Ⅲ 活動【25分】 移動・休憩【5分】	
15：15～15：35 【20分】	○ビーイングによる振り返り② ○おわりの会（生徒主体、先生方の指導）	体育館等

※野外炊事体験と人間関係づくりプログラムの順序を変えて実施することも可能

2 野外炊事体験

- ・学年全体を1班につき7～8名程度で編成する。
- ・班ごとの役割分担は、3～4名程度が炊飯の準備をする「食事係」、他の3～4名程度がかまどを準備する「かまど係」とする。（食事係の生徒にも、火の管理は体験させる）

- ・片付けの時間を短縮するとともに、災害時などにも応用できるよう、鍋とザルと耐熱性ポリ袋を活用した湯煎による炊飯をする。

3 人間関係づくりプログラム

(1) アクティビティのメニューおよび分担

アクティビティ名	活動場所	担当者	準備するもの
ア マシュマロリバー	体育館（前側）	プラザ職員1	スポットシート
イ パイプライン	体育館（後側）	〇〇先生	パイプ、ボール
ウ フラフープリレー、 ヘリウムフープ	柔道場	プラザ職員2	フラフープ、 たすき

(2) クラス・班別

	1～4班	5～8班	9～12班
グループ活動Ⅰ 13:45～14:15	ア プラザ職員1	イ 〇〇先生	ウ プラザ職員2
グループ活動Ⅱ 14:15～14:45	ウ プラザ職員2	ア プラザ職員1	イ 〇〇先生
グループ活動Ⅲ 14:45～15:15	イ 〇〇先生	ウ プラザ職員2	ア プラザ職員1